

令和 5 年（2023 年）度 産学官・地域連携活動報告書

連携先名称：国立大学法人東京海洋大学

協定締結日：令和 3 年（2021 年）3 月 5 日

活動状況：継続中

連携先窓口：東京海洋大学総務部研究推進課

活動資金：大学予算

担当教員（所属）：市川卓（海洋水産学科）

活動体制（単位）：大学

関連教員（所属）：

活動目的：両大学の教育・研究及び人材交流・育成の推進

活動内容・成果：

- ・2023 年 5 月 20 日（土）に大阪・あべのハルカスにて、近畿大学を含む 3 大学でシンポジウム「海の豊かさを守ろう-海洋研究から SDGs を考える-」を開催した。
- ・研究室単位での研究交流を行なった。
- ・2023 年 11 月 29 日に水圏生産科学研究室の 4 年生 1 名、3 年生 3 名が東京海洋大学品川キャンパスを訪問し、水族生理学研究室吉崎悟朗教授、増殖生態学研究室濱崎活幸教授、團重樹准教授から研究紹介、および卒業論文研究の対するアドバイスを頂いた。
- ・2024 年 1 月 30 日、水圏生産科学研究室 3 年生 1 名が卒業論文研究について、北田修一名誉教授にインタビューすると共に研究の進め方、統計学的手法について指導いただいた（写真 1）。

課題・改善点：

- ・今後も教員や研究室単位での交流を基盤として、教育・研究および人材交流・育成の推進を行う。
- ・研究交流の単位が研究室であることから、包括連携協定に関する予算については各研究室が確保する必要がある。卒業論文研究に関連することを行うことで予算をやり繰りしているが、限界がある。予算の適正執行の視点からも大学が連携協定に関する費用を負担すべきである。



写真 1. 北田修一東京海洋大名誉教授と水圏生産科学研究室市川と3年生のオンラインミーティングの様子